

第1学年2組 道徳学習指導案

平成20年6月13日（金）第3校時
授業者 教諭

1 主題名 2－（1）礼儀 みんなと仲よく

2 資料名 いなりやまのこんたろう

3 主題設定の理由

（1）ねらいとする価値について

人間は、人々と関わりながら生きている。学校という異年齢の多くの人々との集団生活の中で人と人との関わりを深め、互いに温かい豊かな人間関係を築くためには、「あいさつ」は、欠かせないものである。また、新しい人との出会いにおいては、自発的にあいさつすることによって、心が開かれ新しい人間関係ができ、楽しく円滑な生活が送れるのである。人権尊重教育でも「あいさつ」の重要性が叫ばれ、地域などでも「あいさつ運動」が繰り広げられている。真心のこもったあいさつが素直な気持ちでできることは、相手に思いやりの心を持つ上でも大切なことである。幼い頃より、快いあいさつを交わしながら、互いに心を開き、明るく楽しく生活できることを実感させたいと考え、本主題を設定した。

（2）児童について 男子20名，女子17名，計37名

1年生の児童は、幼い頃より保育園や幼稚園などであいさつ運動を続けてきており、あいさつをしようという気持ちは、育ってきている。学級でも全体への話しかけのパターンの中では、「はい。」「おはようございます。」「さようなら。」と大きな声で元気よくあいさつや返事ができる。しかし、一人一人になると小さな声になったり、無言になってしまうなど、友達同士や担任以外へのあいさつは、まだまだ身に付いていない。なんとなくとか、恥ずかしいからできないという児童が多いのが現状である。そこで、入学から2ヶ月、友達関係が広がり始めるこの時期に、元気よくあいさつを交わすことにより、友情の輪を広げ、明るく楽しい生活が送れるように指導していきたい。

（3）資料について

きつねのこんたろうは、誰にあいさつをされても知らんぷりしている。いなりやまの大運動会の日、多くの動物たちは、「おはよう。」と声をかけ合い楽しそうだった。しかし、こんたろうに声をかける動物はいない。しばらくすると、のねずみがこんたろうに「おはよう。」と声をかけ、話しかけてきた。こんたろうもうれしくなっていて初めて「おはよう。」とあいさつを返した。

本資料では、きつねのこんたろうの気持ちの変化を捉えさせたい。特に、最後の場面では、あいさつすることで明るく爽やかになるこんたろうの気持ちに共感させ、あいさつの大切さに気づかせていきたい。

（4）指導について

話の筋に沿って役割演技をすることにより、登場人物になりきり、動物たちの気持ちを考えるようにしたい。また、役割を交代させることで、相手の立場に立っても考えられるようにしたい。このとき、本校の研究テーマ「思いをふくらませ表現できる子の育成」に向け、楽しくいきいきと表現できるよう、気楽に話したり聞いたりできる隣の子と向き合い、互いに役割演技を行うことにする。また、この時間で学習したことを実践力につなげるため、本校の「あいさつ運動」の期間に合わせて実行させ、奨励したり賞賛したりしていきたい。生活科の公園探検など校外学習の際にも「進んであいさつしよう」と呼びかけていきたい。

4 本時のねらい

気持ちのよいあいさつ，言葉遣い，動作などに心掛け，明るく接しようとする心情を育てる。

5 準備物
場面絵, ペープサート

6 本時の展開

過程	主な発問と予想される児童の反応	支援（・）と評価（☆）
気づく	1, 今日のあいさつの様子を発表する。 ○今朝, 学校へ来るまでに, だれにどんなあいさつをしましたか。 ・朝起きた時「おはよう。」と言った。 ・家を出る時「行ってきます。」と言った。 ・学校で友達に「おはよう。」と言った。	・簡単に, 日ごろの朝のあいさつについて気付かせ, ねらいへの方向付けをする。
考える	2, 資料「いなりやまのこんたろう」を読んで話し合う。 ○もぐらや, うさぎやふくろうが声をかけても, こんたろうは, どうしていつも知らんぷりしているのでしょうか。 <こんたろう> ・あいさつなんて面倒くさいなあ。 ・うるさいなあ。 ・恥ずかしいよ。 <他の動物たち> ・あいさつしてくれなくて寂しいなあ。 ・もうこんたろうにはあいさつしないわ。 ・いやな気持ちだなあ。 ○運動会で, 動物たちが声をかけ合って楽しそうにしている様子を見て, こんたろうはどんな気持ちだったでしょう。 ・ぼくも仲間に入りたくないなあ。 ・どうしてぼくにだれも声をかけてくれないのかなあ。 ・つまらないなあ。 ◎のねずみに「おはよう。」と声をかけられた時, こんたろうはどんな気持ちになりましたか。	・ペープサートを用いて資料提示する。 ・こんたろうに声をかけている動物たちと, 返事もせず知らんぷりしているこんたろうの気持ちを, 隣同士で役割演技して想像させる。
深める	・ぼくに声をかけてくれるなんてうれしい。 ・あいさつするって, いい気持ちだな。 ・恥ずかしいけど, うれしい。	・あいさつはおろか, 動物たちから何の声もかけてもらえないこんたろうの寂しさに気付かせる。 ・教師がのねずみになり, 児童がこんたろうになって役割演技する。 ・進んであいさつをすることの気持ちよさを感じ取らせる。
高める	3, 今までの自分の生活を振り返って話し合う。 ○あいさつをして気持ちよかったことや, あいさつをされて気持ちよかったことはありますか。	・気持ちのよいあいさつを, いろいろ出させて自己を振り返らせる。 ・あいさつがよくできている児童を紹介し称賛する。 ☆あいさつすることの気持ちよさや大切さに気付くことができたか。 (発表, 表情)